

# 13\_誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率

意義: 誤嚥性肺炎の多くは嚥下障害によって引き起こされる。喉頭ファイバースコープや嚥下造影検査によって患者の嚥下機能を評価し、適切なアプローチ(治療、摂食・嚥下訓練、リハビリテーション、音声訓練など)につなげることができる。

定義の要約:

2019年度実績

分子) 分母のうち「D299喉頭ファイバースコープ」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数 **52人**

分母) 誤嚥性肺炎患者数

193人

**26.9%**

(girasol 全国平均値 7.47%)

